

サンガ通信

第17号
2019. 2. 発行

サンガとはサンスクリット語で「集い、団体」を意味する言葉です。
「サンガ」は、障がい者(児)とその家族、そしてボランティアに関心のある人のサロンです。

仲間の紹介

株式会社サカセル唐津事業所

就労継続支援A型

他の掲載内容

- ☺ サンガの活動紹介
- ☺ 社会福祉大会に参加して



鏡山下バイパス沿いにある「ジュエリーズポップコーン」



就労継続支援A型の「サカセル唐津営業所」へ取材に行きました。

「サカセル唐津営業所」は、オープンして今年2月で4年目です。

全国に加盟店がある「ジュエリーズポップコーン」を扱っています。

店内に入ると、甘い香りが漂っていて、いろいろなフレーバー(香りや味)のかかったポップコーンがたくさん並べてありました。お菓子の国に来たようです。

裏面に続く→



【唐津ガス株式会社】

サンガ支援企業の紹介

唐津ガスは、介護福祉用具の取り扱いをしています。
介護を受ける方の状態が少しでも改善され、またご自分でできることが一つも増えるように。そして快適で楽しい生活になるお手伝いをしています。

問い合わせは、☎ 0955-72-3121 (福祉事業担当へ)

利用者は身体障がい・精神障がい・知的障がいの19歳から66歳までの36人で、職員（職業指導員、生活指導員）と所長の6人で対応されています。

月曜日から金曜日、9時30分から15時までの製造等の作業です。そして土曜日・日曜日の午後は販売のみを行っているそうです。

30種類ものフレーバーがかかったポップコーン。金額は380円からありました。

設立当初からいらっしゃる所長さんに話をうかがいました。

インターネットなどで発注されたポップコーンの種類、個数に合わせて一週間の作業内容とグループが決まるそうです。

毎朝、出勤すると各自が作業計画表を確認し、グループのリーダーさんの指示の元に作業が始まります。

作業内容は、3つあり製造・選別・袋詰めと分かれています。

製造では、ポップコーンの原料となるコーン、フレーバー、オイルがマシン（機械）に入れられ、焼き上がるとポップコーンとなり出てきます。そのポップコーンが塊にならぬようにヘラを使って広げたり混ぜたりしていました。



そこでできたポップコーンを次に選別します。大きなふるいカゴを上下左右に動かして、カゴの中のポップコーンのサイズを一定にさせていました。最後に袋詰めです。販売前の最終作業なのでとても大切なところです。

フレーバーの違うポップコーンが混ざらないように注意します。袋に詰め込む量も指の感覚に頼ることになるので最も重要なところだそうです。

利用者さんの障がいを理解したうえで作業内容が配慮されており、また作業計画表にそって利用者さんの自発的な行動と互いが協力し合う姿勢を見ることができました。

😊 現在、「サカセル」のポップコーンを「サンガ」でも取り扱い販売しています。

種類は、キャラメル・ダブルショコラ・はちみつ・塩・メイプル味と季節限定のあまおう味です。

全て1個380円です、「サンガ」ではコーヒー付きで450円。「サカセル」に通う利用者さんも、作業が休みの日は「サンガ」へ来られます。

かつどうしょうかい
活動紹介



- 10月 ●五福の縁結び
●「ふれあい健康福祉まつり」に参加
●聴覚障がい者のつどい 小物作り
●サンガ通信16号発行

- 11月 ●五福の縁結び
●11日 イオン黄色いレシート
●聴覚障がい者のつどい 小物作り

- 12月 ●五福の縁結び
「サンガ」へハンドタッチングに来られました
●「ボランティアのつどい」に参加
●「人権ふれあいまつり」に参加
●聴覚障がい者のつどい 茶話会

- 1月 ●唐津神社へ初詣・茶話会
●五福の縁結び
●聴覚障がい者のつどい 茶話会
●福祉作業所へ取材



パソコン点字体験



車イス体験

😊 人権週間に合わせて毎年12月に「人権ふれあいまつり」が、八幡町の人権ふれあいセンター唐津で開催されます。

今年も地域の人との交流の場、そして福祉体験のコーナーが設置されました。福祉体験コーナーでは、福祉体験で手話、車イスの介助、視覚障がい者の点字、アイマスクなどがあり、ボランティアさんの協力をもらいながら佐志小学校高学年生が福祉体験をされました。

【聴覚障がい者のつどい】

毎月第4火曜日 サンガ
13時から15時

耳の聞こえない当事者だけでなく、ボランティアをしたい人も気軽に参加ください。手話を学びたい人、パソコンをしたい人、パソコンが得意な人、自分のできることがかかわってみませんか？

【大西工業株式会社】

サンガ支援企業



大西工業は、快適な生活環境創りを通して、地域の繁栄と豊かな暮らしづくりに貢献します。「エアコンの取付・修理」「トイレ・お風呂・台所・洗面所などのリフォーム」「漏水調査から工事まで」「LPガスの器具販売・ガス供給」など、お客様のニーズに合ったきめ細かいサービスをモットーに、誠心誠意対応いたします。

お問い合わせ（電話 0955-73-5178）

活動紹介

武雄市社会福祉大会に参加しました。



『難聴とは？未来につなげよう』
講師／ 医師 吉田翔 先生

長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の先生で先天性難聴でありながらも、医師になる夢を叶えられた吉田翔先生のお話を聞いて来ました。

先生は、デフリンピックの男子バレー日本代表選手であり、難聴の障がいを持ちながらも勉強をされた文武両道の人です。講演では、自分が難聴で不便を感じた体験や健常者との聞こえの違いをわかりやすく話されました。

難聴とは、一人ひとり聞こえ方が異なるので補聴器を合わせるまでが大変なこと。難聴者の前では、口を大きくはっきり開けてゆっくり正面で話をして欲しいこと。サ行・タ行・数字の聞き取り、読み取りはわかりにくいこと。そして、難聴者とのコミュニケーションの方法として手話をする人には手話、補聴器や人工内耳を装着している人には筆談も取り入れたがよいこと。そして最近ではスマホのアプリにも筆談出来るものや、UDトークという言葉が文字化すると話されました。

😊 難聴の私は、手話や話し言葉を文字にする要約筆記がついていたので講演内容がわかり、先生の話しにとても共感しうなずく事が多々ありました。
先生は医師になるにあたって大変な努力をされたと思います。講演後、私の質問にとっても明るく気さくに答えて下さり楽しい時間を過ごせました。 A・A

ボランティアを募集している団体やボランティアをしたい人は「サンガ通信」で呼びかけをしませんか？
気軽にご相談ください。

【「サンガ」の仲間を募集】

活動に賛同して下さる個人会員（年会費1,200円）さん、団体・企業さんを募集しています。詳しくは「サンガ」ホームページをご覧ください。
29年度より「サンガ会員証」カードの発行を始めました。

「サンガ」オープン日は、基本的に週末の金曜日（但し第3は休み）、土曜日、日曜日ですが、屋外でのボランティアと重なる場合、天候が悪い場合に急きょお休みをすることがあります。
「障がい者情報・コミュニケーションサロン サンガ」QRコード（右下）を読み取り、ホームページのカレンダーでご確認ください。

【「サンガ」の支援・応援をありがとうございます！ 企業紹介・賛助団体】

唐津ガス株・大西工業株・麻生本家・マイクコ唐津・メディカルアロマ Lemongrass・
(有)平田印刷・フレックス唐津株・松尾まき子・唐津手話の会・唐津要約筆記の会



発行責任者 障がい者情報・コミュニケーションサロン
「サンガ」代表 坂井 由美子
〒847-0052 唐津市呉服町1794番地 TEL・FAX 0955-88-9025

